

どうして条例が 必要なの？

子どもたちは、やがて大人になつて、街や、社会を支えていく存在。子どもが自分らしく、生き生きと育つことは社会にとってすごく大切なんだ。

だから、このことを、市民みんなが守るルールである条例で定めて、子どもの権利をより確かなものにしてあげようとしているんだよ。



※条例とは、市民の代表である人(議員)が決める、市民みんなが守らなくてはならないルールなどのこと。

こんなことやってるよ!

～「参加する権利」の事例

子ども議会

子どもたちが「子ども議員」として、札幌市に関する提案をするもの。平成13年度から始まりました。



宮の丘中学校 2年 澁谷 俊紀さん

今回この子ども議会に出してみました。前にも出ていたのですが、目立っているのは、



子ども議員は全部で66人。7つの委員会に分かれて真剣に議論しました。

屯田北児童会館 (北区屯田8の7)

児童会館の新築工事に子どもたちの意見を取り入れました。

屯田北中学校 3年 谷 真迪さん



みんな楽しく考えたので使う人たちに楽しんでほしいです。

自分の意見をうまく通せて、理想の児童会館ができました。

屯田中央中学校 3年 おきない 長内 郁子さん



みんなの意見で大きなスクリーンで映画を見る部屋や調理室が実現。今年3月にオープンします!



これから
こういった場はどんどん
増えていくよ。
みんな、
ぜひ参加してみてね。

こうやって僕たちも
参加できると
やる気が出るね。

